

## ウクライナ軍が捕虜のロシア兵を処刑か、テレグラムに映像掲載

4/8(金) 10:12 配信

ウクライナ・リビウ（CNN） ウクライナ軍が首都キーウ（キエフ）地域での戦闘後、捕虜として拘束したロシア兵を処刑する場面を撮影したと思われる映像が、テレグラムに掲載された。CNNはこの映像が撮影された場所を突き止めた。

問題の映像は戦闘後に路上で撮影されたもので、ウクライナ軍の記章と青い腕章を着けた兵士のグループが映っている。道路には、ロシア軍の制服を着た男性少なくとも4人が倒れていた。そのうち3人は頭部に傷があり、体の周りに血だまりができていた。もう1人はジャケットを頭からかぶせられ、あえいでいる様子だった。

「まだ生きてるぞ」。1人の男性がロシア語で言った。「あえいでる」

1人の兵士がライフル銃を向けて2発撃ち、一呼吸おいてもう1発撃った。あえいでいた男性は動かなくなった。

撮影者は次に、「V」の文字が入ったロシア軍の戦車にカメラを向け、「ちょっとした戦利品だ」と言った。

誰かが「スラバ・ウクライーニ（ウクライナに栄光あれ）」と叫ぶ声が聞こえ、あごひげを生やした男性がカメラの前に現れて「英雄に栄光を」と応じた。

この映像は親ロシア派のテレグラムのチャンネルに掲載されたもので、**正確な撮影日時は分かっていない**。しかし撮影場所は、ウクライナ国防省がツイッターに掲載した別の映像の撮影場所と一致していた。ウクライナ国防省の映像が投稿されたのは今月2日で、爆破されたロシア軍の戦闘部隊が映っている。「キーウ地域でウクライナを守る者たちの仕事」という説明が添えられていた。

別の角度からこの現場を映した映像は、ウクライナの通信社UNIANのテレグラムのチャンネルに、3月30日に掲載されていた。この映像には、親ロシア派が投稿した映像に登場するのと同じ、あごひげを生やした男性が映っている。UNIANの説明によれば、これはキーウ地域でウクライナのためにロシア軍と戦っている志願兵グループを映した映像だった。

この数日前には、キーウ郊外の街ブチャで、ロシア軍に殺害された民間人とされる映像が浮上していた。

ベルギーのブリュッセルで開かれた北大西洋条約機構（NATO）の記者会見で、ウクライナの**ドミトロ・クレバ外相**は問題の映像について質問され、「まだ見ていない。聞いてはいる」と述べ、「ウクライナ軍は戦争のルールを守っている」と強調した。

その上で**クレバ外相**は「そうしたルールが破られる個別の事案はあるかもしれない。それについては**確実に捜査する**。だがこの映像の日付を確認したい」と説明。「申し訳ないが、ブチャの写真を見てどんな気持ちになるか、あなた方には分かっていない。逃れてきた人たちの話。知人が4日連続でレイプされたこと。その女性はキーウにたどり着くと、そのまま心療医に運ばれた」と語った。

「これは戦線のいずれの側においても、戦争のルールを破る口実にはならない」「だが、単純には理解できないことがある」とクレバ外相は言い添えた。